



CHAPTER **28**

**show running-config コマンド～ show
running-config isakmp コマンド**

show running-config

セキュリティ アプライアンス上で現在実行されているコンフィギュレーションを表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config** コマンドを使用します。

show running-config [**all**] [*command*]

構文の説明

all	デフォルトを含め、動作設定全体を表示します。
<i>command</i>	特定のコマンドに関連付けられたコンフィギュレーションを表示します。

デフォルト

引数もキーワードも指定しない場合は、デフォルト以外に設定されているセキュリティ アプライアンス コンフィギュレーション全体が表示されます。

コマンドモード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
特権 EXEC	•	•	•	•	•

コマンド履歴

リリース	変更内容
既存	このコマンドが変更されました。

使用上のガイドライン

show running-config コマンドは、セキュリティ アプライアンスのメモリにあるアクティブなコンフィギュレーション（保存されたコンフィギュレーションの変更を含む）を表示します。

show running-config コマンドでは **running-config** キーワードだけを使用できます。このキーワードは **no** または **clear** と一緒には使用できません。また、スタンドアロン コマンドとして使用することもできません。CLI では、サポートされていないコマンドとして処理されます。また、**?**、**no ?**、または **clear ?** のいずれかのキーワードを入力した場合、**running-config** キーワードはコマンドリストに表示されません。

セキュリティ アプライアンスのフラッシュ メモリに保存されたコンフィギュレーションを表示するには、**show configuration** コマンドを使用します。



(注)

このコマンドを使用してセキュリティ アプライアンスへの接続または設定を行った後は、コンフィギュレーションに ASDM コマンドが表示されます。

例

次の例は、セキュリティ アプライアンス上で実行されているアクティブ コンフィギュレーションを表示する方法を示しています。

```
hostname# show running-config
: Saved
:
XXX Version X.X(X)
```

```
names
!
interface Ethernet0
  nameif test
  security-level 10
  ip address 10.10.88.50 255.255.255.254
!
interface Ethernet1
  nameif inside
  security-level 100
  ip address 10.86.194.176 255.255.254.0
!
interface Ethernet2
  shutdown
  no nameif
  security-level 0
  no ip address
!
interface Ethernet3
  shutdown
  no nameif
  security-level 0
  no ip address
!
interface Ethernet4
  shutdown
  no nameif
  security-level 0
  no ip address
!
interface Ethernet5
  shutdown
  no nameif
  security-level 0
  no ip address
!
enable password 8Ry2YjIyt7RRXU24 encrypted
passwd 2KFQnbNIdI.2KYOU encrypted
hostname XXX
domain-name XXX.com
boot system flash:/cdisk.bin
ftp mode passive
pager lines 24
mtu test 1500
mtu inside 1500
monitor-interface test
monitor-interface inside
ASDM image flash:ASDM
no ASDM history enable
arp timeout 14400
route inside 0.0.0.0 0.0.0.0 10.86.194.1 1
timeout xlate 3:00:00
timeout conn 2:00:00 half-closed 1:00:00 udp 0:02:00 icmp 1:00:00 rpc 1:00:00 h3
23 0:05:00 h225 1:00:00 mgcp 0:05:00 mgcp-pat 0:05:00 sip 0:30:00 sip_media 0:02
:00
timeout uauth 0:00:00 absolute
http server enable
http 0.0.0.0 0.0.0.0 inside
no snmp-server location
no snmp-server contact
snmp-server enable traps snmp
fragment size 200 test
fragment chain 24 test
fragment timeout 5 test
```

■ show running-config

```

fragment size 200 inside
fragment chain 24 inside
fragment timeout 5 inside
telnet 0.0.0.0 0.0.0.0 inside
telnet timeout 1440
ssh timeout 5
console timeout 0
group-policy todd internal
!
class-map inspection_default
  match default-inspection-traffic
!
!
policy-map xxx_global_fw_policy
class inspection_default
  inspect dns
  inspect ftp
  inspect h323 h225
  inspect h323 ras
  inspect http
  inspect ils
  inspect mgcp
  inspect netbios
  inspect rpc
  inspect rsh
  inspect rtsp
  inspect sip
  inspect skinny
  inspect sqlnet
  inspect tftp
  inspect xdmcp
  inspect ctiqbe
  inspect cuseeme
  inspect icmp
!
terminal width 80
service-policy xxx_global_fw_policy global
Cryptochecksum:bfe4cf4b9d1b98b7e8d97434851f57e14
: end

```

関連コマンド

コマンド	説明
configure	ターミナルからセキュリティ アプライアンスを設定します。

show running-config aaa

実行コンフィギュレーションの AAA コンフィギュレーションを表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config aaa** コマンドを使用します。

```
show running-config aaa [ accounting | authentication | authorization | mac-exempt |
proxy-limit ]
```

構文の説明

accounting	(任意) アカウンティング関連の AAA コンフィギュレーションを表示します。
authentication	(任意) 認証関連の AAA コンフィギュレーションを表示します。
authorization	(任意) 認可関連の AAA コンフィギュレーションを表示します。
mac-exempt	(任意) MAC アドレス免除の AAA コンフィギュレーションを表示します。
proxy-limit	(任意) ユーザ 1 人あたりに許可されている同時プロキシ接続数を表示します。

デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

コマンドモード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ コンテキスト	システム
コマンドモード 特権 EXEC	•	•	•	•	—

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	このコマンドが導入されました。

例

次に、**show running-config aaa** コマンドの出力例を示します。

```
hostname# show running-config aaa
aaa authentication match infrastructure_authentication_radiusvrs infrastructure radiusvrs
aaa accounting match infrastructure_authentication_radiusvrs infrastructure radiusvrs
aaa authentication secure-http-client
aaa local authentication attempts max-fail 16
hostname#
```

関連コマンド

コマンド	説明
aaa authentication match	アクセス リストで指定されるトラフィックの認証をイネーブルにします。
aaa authorization match	アクセス リストで指定されるトラフィックの認可をイネーブルにします。

コマンド	説明
aaa accounting match	アクセス リストで指定されるトラフィックのアカウントリングをイネーブルにします。
aaa max-exempt	認証と認可を免除される MAC アドレスの事前定義済みリストの使用を指定します。
aaa proxy-limit	ユーザ 1 人あたりに許可される同時プロキシ接続の最大数を設定して、uauth セッション制限を設定します。

show running-config aaa-server

AAA サーバのコンフィギュレーションを表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config aaa-server** コマンドを使用します。

```
show running-config [all] aaa-server [server-tag] [(interface-name)] [host hostname]
```

構文の説明

all	(任意) デフォルトのコンフィギュレーション値など、実行コンフィギュレーションを表示します。
host hostname	(任意) AAA サーバの統計情報を表示する特定ホストのシンボリック名または IP アドレス。
(interface-name)	(任意) AAA サーバが配置されているネットワーク インターフェイス。
server-tag	(任意) サーバ グループのシンボリック名。

デフォルト

server-tag 値を省略すると、すべての AAA サーバのコンフィギュレーションが表示されます。

コマンドモード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ コンテキスト	システム
特権 EXEC	•	•	—	—	•

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	このコマンドは、CLI ガイドラインに準拠するように変更されました。

使用上のガイドライン

このコマンドを使用して、特定のサーバ グループの設定を表示します。明示的に設定されている値に加えてデフォルト値も表示するには、**all** パラメータを使用します。

例

デフォルト AAA サーバ グループの実行コンフィギュレーションを表示するには、次のコマンドを使用します。

```
hostname(config)# show running-config default aaa-server

aaa-server group1 protocol tacacs+ accounting-mode simultaneous
reactivation-mode depletion deadtime 10
max-failed-attempts 4
hostname(config)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
<code>show aaa-server</code>	AAA サーバの統計情報を表示します。
<code>clear configure aaa-server</code>	AAA サーバ コンフィギュレーションをクリアします。

show running-config aaa-server host

特定サーバの AAA サーバ統計情報を表示するには、グローバル コンフィギュレーション モードまたは特権 EXEC モードで **show running-config aaa-server** コマンドを使用します。

show/clear aaa-server

show running-config [all] aaa-server server-tag [(interface-name)] host hostname

構文の説明

all	(任意) デフォルトのコンフィギュレーション値など、実行コンフィギュレーションを表示します。
server-tag	サーバグループのシンボリック名。

デフォルト

デフォルトのキーワードを省略すると、明示的に設定されているコンフィギュレーション値だけが表示され、デフォルト値は表示されません。

コマンドモード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
特権 EXEC	•	•	—	—	•
グローバル コンフィギュレーション	•	•	—	—	•

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	CLI ガイドラインに沿うように、このコマンドが変更されました。

使用上のガイドライン

このコマンドを使用して、特定のサーバグループの統計情報を表示します。デフォルトおよび明示的に設定された値を表示する場合は、デフォルトのパラメータを使用します。

例

サーバグループ svrgrp1 の実行コンフィギュレーションを表示する場合は、次のコマンドを使用します。

```
hostname(config)# show running-config default aaa-server svrgrp1
```

関連コマンド

コマンド	説明
show running-config aaa-server	指定したサーバ、グループ、またはプロトコルの AAA サーバ設定を表示します。
clear configure aaa	すべてのグループのすべての AAA サーバの設定を削除します。

show running-config access-group

アクセス グループ情報を表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config access-group** コマンドを使用します。

show running-config access-group

構文の説明

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

コマンドモード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
特権 EXEC	•	•	•	•	—

コマンド履歴

リリース	変更内容
既存	このコマンドは既存です。

例

次に、**show running-config access-group** コマンドの出力例を示します。

```
hostname# show running-config access-group
access-group 100 in interface outside
```

関連コマンド

コマンド	説明
access-group	アクセス リストをインターフェイスにバインドします。
clear configure access-group	すべてのインターフェイスからアクセス グループを削除します。

show running-config access-list

セキュリティ アプライアンスで実行されているアクセス リスト コンフィギュレーションを表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config access-list** コマンドを使用します。

```
show running-config [default] access-list [alert-interval | deny-flow-max]
```

```
show running-config [default] access-list id [saddr_ip]
```

構文の説明

alert-interval	syslog メッセージ 106001 を生成するアラートの間隔を表示します。このメッセージは、システムが拒否フローの最大数に達したことを警告するメッセージです。
deny-flow-max	作成できる同時拒否フローの最大数を表示します。
id	表示するアクセス リストを指定します。
saddr_ip	指定した送信元 IP アドレスを含むアクセス リスト要素を表示します。

デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

コマンド モード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルータード	透過	シングル	マルチ コンテキ スト	システム
特権 EXEC	•	•	•	•	—

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	キーワード running-config を追加しました。

使用上のガイドライン

show running-config access-list コマンドを使用すると、セキュリティ アプライアンスで現在実行されているアクセス リスト コンフィギュレーションを表示できます。

例

次に、**show running-config access-list** コマンドの出力例を示します。

```
hostname# show running-config access-list
access-list allow-all extended permit ip any any
```

関連コマンド

コマンド	説明
access-list ethertype	EtherType に基づいてトラフィックを制御するアクセス リストを設定します。
access-list extended	アクセス リストをコンフィギュレーションに追加し、ファイアウォールを通過する IP トラフィック用のポリシーを設定します。

コマンド	説明
access-list ethertype	EtherType に基づいてトラフィックを制御するアクセス リストを設定します。
clear access-list	アクセス リスト カウンタをクリアします。
clear configure access-list	実行コンフィギュレーションからアクセス リストをクリアします。

show running-config alias

コンフィギュレーション内の、デュアル NAT コマンドで使用する重複アドレスを表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config alias** コマンドを使用します。

```
show running-config alias {interface_name}
```

構文の説明

interface_name destination_ip が上書きする内部ネットワーク インターフェイス名。

デフォルト

このコマンドには、デフォルト設定がありません。

コマンドモード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ コンテキスト	システム
グローバル コンフィギュレーション	•	•	—	•	•

コマンド履歴

リリース	変更内容
既存	このコマンドは既存です。

例

次に、エイリアス情報を表示する例を示します。

```
hostname# show running-config alias
```

関連コマンド

コマンド	説明
alias	エイリアスを作成します。
clear configure alias	エイリアスを削除します。

show running-config arp

arp コマンドによって作成された、実行コンフィギュレーションのスタティック ARP エントリを表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config arp** コマンドを使用します。

show running-config arp

構文の説明

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

コマンドモード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
特権 EXEC	•	•	•	•	—

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	このコマンドが導入されました。

例

次に、**show running-config arp** コマンドの出力例を示します。

```
hostname# show running-config arp
arp inside 10.86.195.11 0008.023b.9893
```

関連コマンド

コマンド	説明
arp	スタティック ARP エントリを追加します。
arp-inspection	トランスペアレント ファイアウォール モードで、ARP パケットを調査し、ARP スプーフィングを防止します。
show arp	ARP テーブルを表示します。
show arp statistics	ARP 統計情報を表示します。

show running-config arp timeout

実行コンフィギュレーションの ARP タイムアウト コンフィギュレーションを表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config arp timeout** コマンドを使用します。

show running-config arp timeout

構文の説明

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

コマンドモード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
特権 EXEC	•	•	•	•	—

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	このコマンドが、 show arp timeout から変更されました。

例

次に、**show running-config arp timeout** コマンドの出力例を示します。

```
hostname# show running-config arp timeout
arp timeout 20000 seconds
```

関連コマンド

コマンド	説明
arp	スタティック ARP エントリを追加します。
arp timeout	セキュリティ アプライアンスが ARP テーブルを再構築するまでの時間を設定します。
arp-inspection	トランスパレント ファイアウォール モードで、ARP パケットを調査し、ARP スプーフィングを防止します。
show arp statistics	ARP 統計情報を表示します。

show running-config arp-inspection

実行コンフィギュレーションの ARP インスペクション コンフィギュレーションを表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config arp-inspection** コマンドを使用します。

show running-config arp-inspection

構文の説明

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

コマンドモード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
特権 EXEC	—	•	•	•	—

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	このコマンドが、 show arp timeout から変更されました。

例

次に、**show running-config arp-inspection** コマンドの出力例を示します。

```
hostname# show running-config arp-inspection
arp-inspection inside1 enable no-flood
```

関連コマンド

コマンド	説明
arp	スタティック ARP エントリを追加します。
arp-inspection	トランスペアレント ファイアウォール モードで、ARP パケットを調査し、ARP スプーフィングを防止します。
clear configure arp-inspection	ARP インスペクション コンフィギュレーションをクリアします。
firewall transparent	ファイアウォール モードをトランスペアレントに設定します。
show arp statistics	ARP 統計情報を表示します。

show running-config asdm

実行コンフィギュレーションの **asdm** コマンドを表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config asdm** コマンドを使用します。

show running-config asdm [group | location]

構文の説明

group	(任意) 表示を、実行コンフィギュレーションの asdm group コマンドに制限します。
location	(任意) 表示を、実行コンフィギュレーションの asdm location コマンドに制限します。

デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

コマンドモード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
特権 EXEC	•	•	•	•	•

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	このコマンドは、 show running-config pdm コマンドから show running-config asdm コマンドに変更されました。

使用上のガイドライン

asdm コマンドをコンフィギュレーションから削除するには、**clear configure asdm** コマンドを使用します。



(注)

マルチ コンテキスト モードで動作しているセキュリティ アプライアンスでは、**show running-config asdm group** コマンドおよび **show running-config asdm location** コマンドは、システム実行スペースのみで使用できます。

例

次に、**show running-configuration asdm** コマンドの出力例を示します。

```
hostname# show running-config asdm
asdm image flash:/ASDM
asdm history enable
hostname#
```

関連コマンド

コマンド	説明
<code>show asdm image</code>	現在の ASDM イメージ ファイルを表示します。

show running-config auth-prompt

現在の認証プロンプト チャレンジ テキストを表示するには、グローバル コンフィギュレーション モードで show running-config auth-prompt コマンドを使用します。

show running-config [default] auth-prompt

構文の説明

default (任意) デフォルトの認証プロンプト チャレンジ テキストを表示します。

デフォルト

設定されている認証プロンプト チャレンジ テキストを表示します。

コマンドモード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
グローバル コンフィギュレーション	•	•	—	—	•

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	このコマンドが、CLI ガイドラインに準拠するようにこのリリースで修正されました。

使用上のガイドライン

auth-prompt コマンドを使用して認証プロンプトを設定した後に **show running-config auth-prompt** コマンドを使用すると、現在のプロンプト テキストが表示されます。

例

次に、**show running-config auth-prompt** コマンドの出力例を示します。

```
hostname(config)# show running-config auth-prompt
auth-prompt prompt Please login:
auth-prompt accept You're in!
auth-prompt reject Try again.
hostname(config)#
```

関連コマンド

auth-prompt	ユーザ認可プロンプトを設定します。
clear configure auth-prompt	ユーザ認可プロンプトをデフォルト値にリセットします。

show running-config banner

指定したバナー、およびそのバナーに設定されているすべての行を表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config banner** コマンドを使用します。

show running-config banner [exec | login | motd]

構文の説明

exec	(任意) イネーブル プロンプトの前にバナーを表示します。
login	(任意) Telnet を使用してセキュリティ アプライアンスにアクセスした場合に、パスワード ログイン プロンプトの前にバナーを表示します。
motd	(任意) Message-of-The-Day バナーを表示します。

デフォルト

このコマンドには、デフォルト設定がありません。

コマンドモード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
特権 EXEC	•	•	•	•	•

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	running-config キーワードが追加されました。

使用上のガイドライン

show running-config banner コマンドは、指定したバナー キーワード、およびそのバナーに設定されているすべての行を表示します。キーワードが指定されていない場合は、すべてのバナーが表示されません。

例

次に、Message-of-The-Day (motd) バナーを表示する例を示します。

```
hostname# show running-config banner motd
```

関連コマンド

コマンド	説明
banner	バナーを作成します。
clear configure banner	バナーを削除します。

show running-config class

リソース クラス コンフィギュレーションを表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config class** コマンドを使用します。

show running-config class

構文の説明

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

コマンド モード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンド モード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ コンテキ スト	システム
特権 EXEC	•	•	—	—	•

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.2(1)	このコマンドが導入されました。

例

次に、**show running-config class** コマンドの出力例を示します。

```
hostname# show running-config class

class default
  limit-resource All 0
  limit-resource Mac-addresses 65535
  limit-resource ASDM 5
  limit-resource SSH 5
  limit-resource Telnet 5
```

関連コマンド

コマンド	説明
class	リソース クラスを設定します。
clear configure class	クラス コンフィギュレーションをクリアします。
context	セキュリティ コンテキストを設定します。
limit-resource	クラスのリソース制限を設定します。
member	コンテキストをリソース クラスに割り当てます。

show running-config class-map

クラス マップ コンフィギュレーションに関する情報を表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config class-map** コマンドを使用します。

```
show running-config [all] class-map [class_map_name | type {management | regex |
inspect [protocol]}]
```

構文の説明

all	(任意) デフォルトから変更していないコマンドを含め、すべてのコマンドを表示します。
class_map_name	(任意) クラス マップ名の実行コンフィギュレーションを表示します。
inspect	(任意) インスペクション クラス マップを表示します。
management	(任意) 管理クラス マップを表示します。
protocol	(任意) 表示するアプリケーション マップのタイプを指定します。利用可能なタイプは次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> • dns • ftp • h323 • http • im • p2p-donkey • sip
regex	(任意) 正規表現クラス マップを表示します。
type	(任意) 表示するクラス マップのタイプを指定します。レイヤ 3/4 クラス マップを表示する場合は、タイプを指定しないでください。

デフォルト

match any コマンドを 1 つだけ含む **class-map class-default** コマンドが、デフォルトのクラス マップです。

コマンドモード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
特権 EXEC	•	•	•	•	—

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	キーワード running-config を追加しました。

例

次に、**show running-config class-map** コマンドの出力例を示します。

```
hostname# show running-config class-map
class-map tcp-port
  match port tcp eq ftp
hostname#
```

関連コマンド

コマンド	説明
class-map	トラフィック クラスをインターフェイスに適用します。
clear configure class-map	すべてのトラフィック マップ定義を削除します。

show running-config client-update

グローバル クライアント更新コンフィギュレーション情報を表示するには、グローバル コンフィギュレーション モードまたはトンネル グループ IPsec 属性コンフィギュレーション モードで、**show running-config client-update** コマンドを使用します。

show running-config client-update

構文の説明

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

コマンドモード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
グローバル コンフィギュレーション	•	•	—	—	•
トンネル グループ ipsec 属性コンフィギュレーション	•	—	•	—	—

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	このコマンドが導入されました。
7.1(1)	トンネル グループ ipsec 属性コンフィギュレーション モードが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドを使用して、グローバル クライアント更新コンフィギュレーション情報を表示します。

例

次に、グローバル コンフィギュレーション モードでの **show running-config client-update** コマンド、およびクライアント更新がイネーブルなコンフィギュレーションでのコマンドの出力例を示します。

```
hostname(config)# show running-config client-update
hostname(config)# client-update enable
```

関連コマンド

コマンド	説明
clear configure client-update	クライアントアップデート コンフィギュレーション全体をクリアします。
client-update	クライアント アップデートを設定します。

show running-config clock

実行コンフィギュレーションのクロック コンフィギュレーションを表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config clock** コマンドを使用します。

show running-config [all] clock

構文の説明

all (任意) デフォルトから変更していないコマンドを含め、すべての **clock** コマンドを表示します。

デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

コマンドモード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
特権 EXEC	•	•	•	—	•

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

オフセットを設定しなかった場合は、**all** キーワードを指定すると、**clock summer-time** コマンドの正確な日時とともにオフセットのデフォルト設定も表示されます。

例

次に、**show running-config clock** コマンドの出力例を示します。**clock summer-time** コマンドのみが設定されています。

```
hostname# show running-config clock
clock summer-time EDT recurring
```

次に、**show running-config all clock** コマンドの出力例を示します。設定されていない **clock timezone** コマンドのデフォルト設定および **clock summer-time** コマンドの詳細な情報が表示されています。

```
hostname# show running-config all clock
clock timezone UTC 0
clock summer-time EDT recurring 1 Sun Apr 2:00 last Sun Oct 2:00 60
```

関連コマンド

コマンド	説明
clock set	セキュリティ アプライアンスのクロックを手動で設定します。
clock summer-time	夏時間を表示する日付の範囲を設定します。
clock timezone	時間帯を設定します。

show running-config command-alias

設定されているコマンドエイリアスを表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config command-alias** コマンドを表示します。

show running-config [all] command-alias

構文の説明

all (任意) デフォルトを含め、設定されているすべてのコマンドエイリアスを表示します。

デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

コマンドモード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
特権 EXEC	•	•	•	•	•

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

all キーワードを入力しない場合は、デフォルト以外のコマンドエイリアスのみが表示されます。

例

次の例では、デフォルト値を含めて、セキュリティ アプライアンスで設定されているすべてのコマンドエイリアスを表示しています。

```
hostname# show running-config all command-alias
command-alias exec h help
command-alias exec lo logout
command-alias exec p ping
command-alias exec s show
command-alias exec save copy running-config startup-config
```

次の例では、デフォルト値を除いて、セキュリティ アプライアンスで設定されているすべてのコマンドエイリアスを表示しています。

```
hostname# show running-config command-alias
command-alias exec save copy running-config startup-config
hostname#
```

関連コマンド

コマンド	説明
<code>command-alias</code>	コマンドエイリアスを作成します。
<code>clear configure command-alias</code>	デフォルト以外のすべてのコマンドエイリアスを削除します。

show running-config compression

実行コンフィギュレーションの圧縮コンフィギュレーションを表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config compression** コマンドを使用します。

show running-config compression

デフォルト

このコマンドにデフォルトの動作はありません。

コマンドモード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
特権 EXEC	•	—	•	—	—

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.1(1)	このコマンドが導入されました。

例

次に、実行コンフィギュレーション内の圧縮コンフィギュレーションを表示する例を示します。

```
hostname# show running-config compression
compression svc http-comp
```

関連コマンド

コマンド	説明
compression	すべての SVC 接続、WebVPN 接続、およびポート転送接続に対して圧縮をイネーブルにします。

show running-config console timeout

コンソール接続のタイムアウト値を表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config console timeout** コマンドを使用します。

show running-config console timeout

構文の説明

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

コマンドモード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ コンテキ スト	システム
コマンドモード 特権 EXEC	•	•	•	•	•

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	このコマンドが導入されました。

例

次の例は、コンソール接続のタイムアウト設定を表示する方法を示しています。

```
hostname# show running-config console timeout
console timeout 0
```

関連コマンド

コマンド	説明
console timeout	セキュリティ アプライアンスに対するコンソール接続のアイドル タイムアウトを設定します。
clear configure console	コンソール接続の設定をデフォルトにリセットします。

show running-config context

システム実行スペースのコンテキスト コンフィギュレーションを表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config context** コマンドを使用します。

show running-config [all] context

構文の説明

all (任意) デフォルトから変更していないコマンドを含め、すべてのコマンドを表示します。**mac-address auto** コマンドを使用する場合、**all** キーワードを使用すると、割り当てられているすべての MAC アドレスを表示できます。

デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

コマンドモード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
特権 EXEC	•	•	—	—	•

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	このコマンドが導入されました。
8.0(5)	all キーワードを使用すると、 mac-address auto コマンドを設定するときに、共有インターフェイスに割り当てられている MAC アドレスを表示できます。

使用上のガイドライン

mac-address auto コマンドを使用して共有インターフェイスの一意的な MAC アドレスを生成する場合、割り当てられている MAC アドレスを表示するには **all** オプションが必要です。**mac-address auto** コマンドは、ユーザがグローバル コンフィギュレーション モードだけで設定可能ですが、**mac-address auto** コマンドは、各コンテキストのコンフィギュレーションで、割り当てられている MAC アドレスとともに読み取り専用エントリとして表示されます。コンテキスト内で **nameif** コマンドで設定される共有インターフェイスだけに MAC アドレスが割り当てられます。



(注)

MAC アドレスをインターフェイスに手動で割り当てるものの、その際に自動生成がイネーブルになっていると、手動 MAC アドレスが使用中のアドレスとなりますが、コンフィギュレーションには自動生成されたアドレスが引き続き表示されます。後で手動 MAC アドレスを削除すると、表示されている自動生成アドレスが使用されます。

例

show running-config all context admin コマンドからの次の出力には、Management0/0 インターフェイスに割り当てられたプライマリおよびスタンバイ MAC アドレスが表示されます。

```
hostname# show running-config all context admin

context admin
  allocate-interface Management0/0
  mac-address auto Management0/0 a24d.0000.1440 a24d.0000.1441
  config-url disk0:/admin.cfg
```

show running-config all context コマンドからの次の出力には、すべてのコンテキスト インターフェイスのすべての MAC アドレス（プライマリおよびスタンバイ）が表示されます。GigabitEthernet0/0 と GigabitEthernet0/1 の各メイン インターフェイスはコンテキスト内部に **nameif** コマンドで設定されないため、それらのインターフェイスの MAC アドレスは生成されていないことに注意してください。

```
hostname# show running-config all context

admin-context admin
context admin
  allocate-interface Management0/0
  mac-address auto Management0/0 a2d2.0400.125a a2d2.0400.125b
  config-url disk0:/admin.cfg
!

context CTX1
  allocate-interface GigabitEthernet0/0
  allocate-interface GigabitEthernet0/0.1-GigabitEthernet0/0.5
  mac-address auto GigabitEthernet0/0.1 a2d2.0400.11bc a2d2.0400.11bd
  mac-address auto GigabitEthernet0/0.2 a2d2.0400.11c0 a2d2.0400.11c1
  mac-address auto GigabitEthernet0/0.3 a2d2.0400.11c4 a2d2.0400.11c5
  mac-address auto GigabitEthernet0/0.4 a2d2.0400.11c8 a2d2.0400.11c9
  mac-address auto GigabitEthernet0/0.5 a2d2.0400.11cc a2d2.0400.11cd
  allocate-interface GigabitEthernet0/1
  allocate-interface GigabitEthernet0/1.1-GigabitEthernet0/1.3
  mac-address auto GigabitEthernet0/1.1 a2d2.0400.120c a2d2.0400.120d
  mac-address auto GigabitEthernet0/1.2 a2d2.0400.1210 a2d2.0400.1211
  mac-address auto GigabitEthernet0/1.3 a2d2.0400.1214 a2d2.0400.1215
  config-url disk0:/CTX1.cfg
!

context CTX2
  allocate-interface GigabitEthernet0/0
  allocate-interface GigabitEthernet0/0.1-GigabitEthernet0/0.5
  mac-address auto GigabitEthernet0/0.1 a2d2.0400.11ba a2d2.0400.11bb
  mac-address auto GigabitEthernet0/0.2 a2d2.0400.11be a2d2.0400.11bf
  mac-address auto GigabitEthernet0/0.3 a2d2.0400.11c2 a2d2.0400.11c3
  mac-address auto GigabitEthernet0/0.4 a2d2.0400.11c6 a2d2.0400.11c7
  mac-address auto GigabitEthernet0/0.5 a2d2.0400.11ca a2d2.0400.11cb
  allocate-interface GigabitEthernet0/1
  allocate-interface GigabitEthernet0/1.1-GigabitEthernet0/1.3
  mac-address auto GigabitEthernet0/1.1 a2d2.0400.120a a2d2.0400.120b
  mac-address auto GigabitEthernet0/1.2 a2d2.0400.120e a2d2.0400.120f
  mac-address auto GigabitEthernet0/1.3 a2d2.0400.1212 a2d2.0400.1213
  config-url disk0:/CTX2.cfg
!
```

関連コマンド

コマンド	説明
admin-context	管理コンテキストを設定します。
allocate-interface	コンテキストにインターフェイスを割り当てます。
changeto	コンテキスト間またはコンテキストとシステム実行スペースの間で切り替えを行います。

コマンド	説明
config-url	コンテキスト コンフィギュレーションの場所を指定します。
context	システム コンフィギュレーションにセキュリティ コンテキストを作成し、コンテキスト コンフィギュレーション モードを開始します。
mac-address auto	共有インターフェイスの一意の MAC アドレスを自動的に生成します。

show running-config crypto

IPSec、クリプト マップ、ダイナミック クリプト マップ、および ISAKMP を含めた暗号コンフィギュレーション全体を表示するには、グローバル コンフィギュレーション モードまたは特権 EXEC モードで **show running-config crypto** コマンドを使用します。

show running-config crypto

構文の説明

このコマンドにはキーワードまたは引数はありません。

デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

コマンド モード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンド モード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ コンテキスト	システム
グローバル コンフィギュレーション	•	—	•	—	—
特権 EXEC	•	—	•	—	—

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0	このコマンドが導入されました。

例

特権 EXEC モードで入力した次の例では、すべての暗号コンフィギュレーション情報を表示しています。

```
hostname# show running-config crypto map
crypto map abc 1 match address xyz
crypto map abc 1 set peer 209.165.200.225
crypto map abc 1 set transform-set ttt
crypto map abc interface test
isakmp enable inside
isakmp policy 1 authentication pre-share
isakmp policy 1 encryption 3des
isakmp policy 1 hash md5
isakmp policy 1 group 2
isakmp policy 1 lifetime 86400
hostname#
```

関連コマンド

コマンド	説明
clear configure isakmp	すべての ISAKMP コンフィギュレーションをクリアします。
clear configure isakmp policy	すべての ISAKMP ポリシー コンフィギュレーションをクリアします。
clear isakmp sa	IKE ランタイム SA データベースをクリアします。

コマンド	説明
isakmp enable	IPSec ピアがセキュリティ アプライアンスと通信するインターフェイス上の ISAKMP ネゴシエーションをイネーブルにします。
show isakmp sa	追加情報を含め、IKE ランタイム SA データベースを表示します。

show running-config crypto dynamic-map

ダイナミック クリプト マップを表示するには、グローバル コンフィギュレーション モードまたは特権 EXEC モードで **show running-config crypto dynamic-map** コマンドを使用します。

show running-config crypto dynamic-map

構文の説明

このコマンドにはキーワードまたは引数はありません。

デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

コマンド モード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンド モード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ コンテキ スト	システム
グローバル コンフィギュレーション	•	•	•	—	—
特権 EXEC	•	•	•	—	—

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	このコマンドが導入されました。

例

次に、グローバル コンフィギュレーション モードでコマンドを入力し、ダイナミック クリプト マップに関するすべてのコンフィギュレーション情報を表示する例を示します。

```
hostname(config)# show running-config crypto dynamic-map

Crypto Map Template "dyn1" 10

    access-list 152 permit ip host 172.21.114.67 any
    Current peer: 0.0.0.0
    Security association lifetime: 4608000 kilobytes/120 seconds
    PFS (Y/N): N
    Transform sets={ tauth, t1, }
```

関連コマンド

コマンド	説明
clear configure isakmp	すべての ISAKMP コンフィギュレーションをクリアします。
clear configure isakmp policy	すべての ISAKMP ポリシー コンフィギュレーションをクリアします。
clear isakmp sa	IKE ランタイム SA データベースをクリアします。

コマンド	説明
isakmp enable	IPSec ピアがセキュリティ アプライアンスと通信するインターフェイス上の ISAKMP ネゴシエーションをイネーブルにします。
show isakmp sa	追加情報を含め、IKE ランタイム SA データベースを表示します。

show running-config crypto ipsec

完全な IPSec コンフィギュレーションを表示するには、グローバル コンフィギュレーションまたは特権 EXEC モードで **show running-config crypto ipsec** コマンドを使用します。

show running-config crypto ipsec

構文の説明

このコマンドにデフォルトの動作または値はありません。

デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

コマンドモード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
グローバル コンフィギュレーション	•	—	•	—	—
特権 EXEC	•	—	•	—	—

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	このコマンドが導入されました。

例

グローバル コンフィギュレーション モードで発行した次の例では、IPSec コンフィギュレーションに関する情報を表示しています。

```
hostname(config)# show running-config crypto ipsec
crypto ipsec transform-set ttt esp-3des esp-md5-hmac
```

関連コマンド

コマンド	説明
clear configure isakmp	すべての ISAKMP コンフィギュレーションをクリアします。
clear configure isakmp policy	すべての ISAKMP ポリシー コンフィギュレーションをクリアします。
clear isakmp sa	IKE ランタイム SA データベースをクリアします。
isakmp enable	IPSec ピアがセキュリティ アプライアンスと通信するインターフェイス上の ISAKMP ネゴシエーションをイネーブルにします。
show isakmp sa	追加情報を含め、IKE ランタイム SA データベースを表示します。

show running-config crypto isakmp

ISAKMP コンフィギュレーション全体を表示するには、グローバル コンフィギュレーション モードまたは特権 EXEC モードで **show running-config crypto isakmp** コマンドを使用します。

show running-config crypto isakmp

構文の説明

このコマンドにデフォルトの動作または値はありません。

デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

コマンドモード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
グローバル コンフィギュレーション	•	—	•	—	—
特権 EXEC	•	—	•	—	—

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	show running-config isakmp コマンドが導入されました。
7.2(1)	このコマンドは廃止されました。 show running-config crypto isakmp コマンドが代わりに使用されます。

例

グローバル コンフィギュレーション モードで発行した次の例では、ISAKMP コンフィギュレーションに関する情報を表示しています。

```
hostname(config)# show running-config crypto isakmp
crypto isakmp enable inside
crypto isakmp policy 1 authentication pre-share
crypto isakmp policy 1 encryption 3des
crypto isakmp policy 1 hash md5
crypto isakmp policy 1 group 2
crypto isakmp policy 1 lifetime 86400
hostname(config)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
clear configure crypto isakmp	すべての ISAKMP コンフィギュレーションをクリアします。
clear configure crypto isakmp policy	すべての ISAKMP ポリシー コンフィギュレーションをクリアします。
clear crypto isakmp sa	IKE ランタイム SA データベースをクリアします。

コマンド	説明
<code>crypto isakmp enable</code>	IPSec ピアがセキュリティ アプライアンスと通信するインターフェイス上の ISAKMP ネゴシエーションをイネーブルにします。
<code>show crypto isakmp sa</code>	追加情報を含め、IKE ランタイム SA データベースを表示します。

show running-config crypto map

すべてのクリプト マップのすべてのコンフィギュレーションを表示するには、グローバル コンフィギュレーション モードまたは特権 EXEC モードで **show running-config crypto map** コマンドを使用します。

show running-config crypto map

構文の説明

このコマンドにはキーワードまたは引数はありません。

デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

コマンドモード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
グローバル コンフィギュレーション	•	•	•	—	—
特権 EXEC	•	•	•	—	—

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0	このコマンドが導入されました。

例

次に、特権 EXEC モードでコマンドを入力し、すべてのクリプト マップのすべてのコンフィギュレーション情報を表示する例を示します。

```
hostname# show running-config crypto map
crypto map abc 1 match address xyz
crypto map abc 1 set peer 209.165.200.225
crypto map abc 1 set transform-set ttt
crypto map abc interface test
```

関連コマンド

コマンド	説明
clear configure isakmp	すべての ISAKMP コンフィギュレーションをクリアします。
clear configure isakmp policy	すべての ISAKMP ポリシー コンフィギュレーションをクリアします。
clear isakmp sa	IKE ランタイム SA データベースをクリアします。
isakmp enable	IPSec ピアがセキュリティ アプライアンスと通信するインターフェイス上の ISAKMP ネゴシエーションをイネーブルにします。
show isakmp sa	追加情報を含め、IKE ランタイム SA データベースを表示します。

show running-config ctl-file

設定されている CTL ファイルのインスタンスを表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config ctl-file** コマンドを使用します。

```
show running-config [all] ctl-file [ctl_name]
```

構文の説明

ctl_name (任意) CTL ファイル インスタンスの名前を指定します。

デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

コマンドモード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
特権 EXEC	•	—	•	—	—

コマンド履歴

リリース	変更内容
8.0(4)	このコマンドが追加されました。

例

次に、**show running-config ctl-file** コマンドを使用して、設定されている CTL ファイル インスタンスを表示する例を示します。

```
hostname# show running-config all ctl-file asa_ctl
```

関連コマンド

コマンド	説明
ctl-file (グローバル)	Phone Proxy コンフィギュレーション用に作成する CTL ファイル、またはフラッシュ メモリから解析するための CTL ファイルを指定します。
ctl-file (Phone-Proxy)	Phone Proxy コンフィギュレーションで使用する CTL ファイルを指定します。
phone-proxy	Phone Proxy インスタンスを設定します。

show running-config ctl-provider

現在実行されているすべての証明書信頼リスト プロバイダーのコンフィギュレーションを表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config ctl-provider** コマンドを使用します。

show running-config [all] ctl-provider [provider_name]

構文の説明

all	デフォルトから変更していないコマンドを含め、すべての TLS プロキシ コマンドを表示します。
provider_name	表示する CTL プロバイダーの名前を指定します。

デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

コマンドモード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
特権 EXEC	•	•	•	•	—

コマンド履歴

リリース	変更内容
8.0(2)	このコマンドが導入されました。

例

次に、**show running-config ctl-provider** コマンドの出力例を示します。

```
hostname# show running-config ctl-provider
ctl-provider ctl_prov
  client interface inside address 195.168.2.103
  client username CCMAadministrator password xxxxxxxxxxxx encrypted
  export certificate local_ccm
```

関連コマンド

コマンド	説明
ctl	CTL クライアントの CTL ファイルを解析し、トラストポイントをインストールします。
ctl-provider	CTL プロバイダー モードで CTL プロバイダー インスタンスを設定します。
export	クライアントにエクスポートする証明書を指定します。
service	CTL プロバイダーがリッスンするポートを指定します。

show running-config ddns

実行コンフィギュレーションの DDNS 更新方式を表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config ddns** コマンドを使用します。

show running-config [all] ddns [update]

構文の説明

all (任意) デフォルトのコンフィギュレーション値など、実行コンフィギュレーションを表示します。

update (任意) DDNS 更新方式情報の表示を指定します。

デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

コマンドモード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
特権 EXEC	•	—	•	•	—

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.2(1)	このコマンドが導入されました。

例

次に、実行コンフィギュレーションで名前に **test** が含まれる DDNS 方式を表示する例を示します。

```
hostname# show running-config all ddns | grep test
ddns update method test
```

関連コマンド

コマンド	説明
ddns (DDNS 更新方式モード)	作成済みの DDNS 方式に対して、DDNS アップデート方式のタイプを指定します。
ddns update (インターフェイスコンフィギュレーションモード)	セキュリティ アプライアンス インターフェイスを DDNS アップデート方式または DDNS アップデート ホスト名に関連付けます。
ddns update method (グローバルコンフィギュレーションモード)	DNS のリソース レコードをダイナミックにアップデートするための方式を作成します。
show ddns update interface	設定済みの各 DDNS 方式に関連付けられたインターフェイスを表示します。
show ddns update method	設定済みの DDNS 方式ごとにタイプと間隔を表示します。DDNS アップデートを実行する DHCP サーバ。

show running-config dhcp-client

実行コンフィギュレーションの DHCP クライアント更新パラメータを表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config dhcp-client** コマンドを使用します。

show running-config [all] dhcp-client

構文の説明

all (任意) 実行コンフィギュレーションを、デフォルトのコンフィギュレーション値を含めて表示します。

デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

コマンドモード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
特権 EXEC	•	—	•	•	—

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.2(1)	このコマンドが導入されました。

例

次に、A および PTR の両方のレコードの更新を指定する、実行コンフィギュレーションの DHCP クライアント更新パラメータを表示する例を示します。

```
hostname# show running-config all dhcp-client | grep both
dhcp-client update dns server both
```

関連コマンド

コマンド	説明
dhcp-client update dns	DHCP クライアントが DHCP サーバに渡すアップデート パラメータを設定します。
dhcpd update dns	DHCP サーバによる DDNS アップデートの実行をイネーブにします。
clear configure dhcp-client	DHCP クライアント コンフィギュレーションをクリアします。

show running-config dhcpd

DHCP コンフィギュレーションを表示するには、特権 EXEC モードまたはグローバル コンフィギュレーション モードで **show running-config dhcpd** コマンドを使用します。

show running-config dhcpd

構文の説明

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

コマンド モード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンド モード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ コンテキ スト	システム
特権 EXEC	•	•	•	•	—

コマンド履歴

リリース 変更内容

7.0(1) このコマンドは、**show dhcpd** コマンドから **show running-config dhcpd** コマンドに変更されました。

使用上のガイドライン

show running-config dhcpd コマンドは、実行コンフィギュレーションで入力された DHCP コマンドを表示します。DHCP のバインディング、状態、および統計情報を表示するには、**show dhcpd** コマンドを使用します。

例

次に、**show running-config dhcpd** コマンドの出力例を示します。

```
hostname# show running-config dhcpd

dhcpd address 10.0.1.100-10.0.1.108 inside
dhcpd lease 3600
dhcpd ping_timeout 750
dhcpd dns 209.165.201.2 209.165.202.129
dhcpd enable inside
```

関連コマンド

コマンド	説明
clear configure dhcpd	すべての DHCP サーバ設定を削除します。
debug dhcpd	DHCP サーバのデバッグ情報を表示します。
show dhcpd	DHCP のバインディング、統計情報、または状態情報を表示します。

show running-config dhcprelay

現在の DHCP リレー エージェント コンフィギュレーションを表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config dhcprelay** コマンドを使用します。

show running-config dhcprelay

構文の説明

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

コマンドモード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
特権 EXEC	•	—	•	•	—

コマンド履歴

リリース	変更内容
既存	このコマンドは既存です。

使用上のガイドライン

show running-config dhcprelay コマンドは、現在の DHCP リレー エージェント コンフィギュレーションを表示します。DHCP リレー エージェントの packets 統計情報を表示するには、**show dhcprelay statistics** コマンドを使用します。

例

次に、**show running-config dhcprelay** コマンドの出力例を示します。

```
hostname(config)# show running-config dhcprelay

dhcprelay server 10.1.1.1
dhcprelay enable inside
dhcprelay timeout 90
```

関連コマンド

コマンド	説明
clear configure dhcprelay	DHCP リレー エージェントの設定をすべて削除します。
clear dhcprelay statistics	DHCP リレー エージェントの統計カウンタをクリアします。
debug dhcprelay	DHCP リレー エージェントのデバッグ情報を表示します。
show dhcprelay statistics	DHCP リレー エージェントの統計情報を表示します。

show running-config dns

実行コンフィギュレーションの DNS コンフィギュレーションを表示するには、**show running-config dns** コマンドを特権 EXEC モードで使用します。

show running-config dns

構文の説明

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

コマンドモード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ コンテキ スト	システム
コマンドモード					
特権 EXEC	•	•	•	•	—

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0	このコマンドが導入されました。

例

次に、**show running-config dns** コマンドの出力例を示します。

```
hostname# show running-config dns
dns domain-lookup inside
dns name-server
dns retries 2
dns timeout 15
dns name-server 10.1.1.1
```

関連コマンド

コマンド	説明
dns domain-lookup	セキュリティ アプライアンスによるネーム ルックアップの実行をイネーブルにします。
dns name-server	DNS サーバアドレスを設定します。
dns retries	セキュリティ アプライアンスが応答を受信しないときに、DNS サーバのリストを再試行する回数を指定します。
dns timeout	次の DNS サーバを試行するまでに待機する時間を指定します。
show dns-hosts	DNS キャッシュを表示します。

show running-config dns server-group

実行コンフィギュレーションの DNS コンフィギュレーションを表示するには、**show running-config dns** コマンドを特権 EXEC モードで使用します。

show [all] running-config dns server-group [name]

構文の説明

all	1 つまたはすべての DNS サーバグループについて、デフォルトおよび明示的に設定されたコンフィギュレーション情報を表示します。
name	コンフィギュレーション情報を表示する DNS サーバグループの名前を指定します。

デフォルト

DNS サーバグループ名を省略すると、既存の DNS サーバグループコンフィギュレーションがすべて表示されます。

コマンドモード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンドモード	ファイアウォールモード		セキュリティコンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
特権 EXEC	•	•	•	•	—

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.1 (1)	このコマンドが導入されました。

例

次に、**show running-config dns server-group** コマンドの出力例を示します。

```
hostname# show running-config dns server-group
dns domain-lookup inside
dns server-group DefaultDNS
  name-server 90.1.1.22
  domain-name frqa.cisco.com
dns server-group writers1
  retries 10
  timeout 3
  name-server 10.86.194.61
  domain-name doc-group
hostname#
```

関連コマンド

コマンド	説明
clear configure dns	DNS コマンドをすべて削除します。
dns server-group	DNS サーバグループを設定できる DNS サーバグループモードを開始します。

show running-config domain-name

実行コンフィギュレーションのドメイン名コンフィギュレーションを表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config domain-name** コマンドを使用します。

show running-config domain-name

構文の説明

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

コマンドモード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
特権 EXEC	•	•	•	•	•

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	このコマンドは、 show domain-name から変更されました。

例

次に、**show running-config domain-name** コマンドの出力例を示します。

```
hostname# show running-config domain-name
example.com
```

関連コマンド

コマンド	説明
domain-name	デフォルトのドメイン名を設定します。
hostname	セキュリティ アプライアンスのホスト名を設定します。

show running-config dynamic-access-policy-record

すべての DAP レコードまたは指定した DAP レコードの実行コンフィギュレーションを表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config dynamic-access-policy-record** コマンドを使用します。

show running-config dynamic-access-policy-record [*name*]

構文の説明

name DAP レコードの名前を指定します。名前は 64 文字以内で指定できます。スペースを含めることはできません。

デフォルト

すべての属性が表示されます。

コマンドモード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
				マルチ コンテキ スト	システム
コマンドモード	ルーテッド	透過	シングル		
特権 EXEC モード	•	•	•	—	—

コマンド履歴

リリース	変更内容
8.0(2)	このコマンドが導入されました。

例

次に、**show running-config dynamic-access-policy-record** コマンドを使用して、Finance という名前の DAP レコードの統計情報を表示する例を示します。

```
ASA(config)#show running-config dynamic-access-policy-record Finance
dynamic-access-policy-record Finance
description value "Finance users from trusted device"
network-acl FinanceFirewallAcl
user-message "Limit access to the Finance network"
priority 2
webvpn
  appl-acl FinanceWebvpnAcl
  url-list value FinanceLinks,StockLinks
  port-forward enable FinanceApps
  file-browsing enable
  file-entry enablehostname#
```

関連コマンド

コマンド	説明
<code>clear config dynamic-access-policy-record [name]</code>	すべての DAP レコードまたは指定された DAP レコードを削除します。
<code>dynamic-access-policy-record</code>	DAP レコードを作成します。

show running-config enable

暗号化されたイネーブル パスワードを表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config enable** コマンドを使用します。

show running-config enable

構文の説明

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

コマンドモード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ コンテキ スト	システム
特権 EXEC	•	•	•	•	•

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	このコマンドは、 show enable コマンドから変更されました。

使用上のガイドライン

パスワードは暗号化された形式でコンフィギュレーションに保存されるため、パスワードの入力後に元のパスワードを表示することはできません。パスワードは **encrypted** キーワードとともに表示され、パスワードが暗号化されていることが示されます。

例

次に、**show running-config enable** コマンドの出力例を示します。

```
hostname# show running-config enable
enable password 2AfK9Kjr3BE2/J2r level 10 encrypted
enable password 8Ry2YjIyt7RRXU24 encrypted
```

関連コマンド

コマンド	説明
disable	特権 EXEC モードを終了します。
enable	特権 EXEC モードを開始します。
enable password	イネーブル パスワードを設定します。

show running-config established

確立されている接続に基づく、許可済みの着信接続を表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config established** コマンドを使用します。

show running-config established

構文の説明

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

コマンド モード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ コンテキ スト	システム
特権 EXEC	•	•	•	•	—

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	キーワード running-config が追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドには使用上のガイドラインがありません。

例

次に、確立されている接続に基づいて着信接続を表示する例を示します。

```
hostname# show running-config established
```

関連コマンド

コマンド	説明
established	確立されている接続に基づくポート上のリターン接続を許可します。
clear configure established	確立されたコマンドをすべて削除します。

show running-config failover

コンフィギュレーション内の **failover** コマンドを表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config failover** コマンドを使用します。

show running-config [all] failover

構文の説明

all (任意) デフォルトから変更していないコマンドを含め、すべての failover コマンドを表示します。

デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

コマンドモード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
特権 EXEC	•	•	•	—	•

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

show running-config failover コマンドは、実行コンフィギュレーションに含まれる **failover** コマンドを表示します。**monitor-interface** コマンドまたは **join-failover-group** コマンドは表示されません。

例

次に、フェールオーバーを設定する前のデフォルト フェールオーバー コンフィギュレーションの例を示します。

```
hostname# show running-config all failover
no failover
failover lan unit secondary
failover polltime unit 15 holdtime 45
failover polltime interface 15
failover interface policy 1
```

関連コマンド

コマンド	説明
show failover	フェールオーバーの状態および統計情報を表示します。

show running-config filter

フィルタリング コンフィギュレーションを表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config filter** コマンドを使用します。

show running-config filter

デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

コマンドモード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ コンテキ スト	システム
特権 EXEC	•	•	•	•	—

コマンド履歴

リリース	変更内容
既存	このコマンドは既存です。

使用上のガイドライン

show running-config filter コマンドは、セキュリティ アプライアンスのフィルタリング コンフィギュレーションを表示します。

例

次に、**show running-config filter** コマンドの出力例を示します。セキュリティ アプライアンスのフィルタリング コンフィギュレーションが表示されています。

```
hostname# show running-config filter
!
filter activex 80 10.86.194.170 255.255.255.255 10.1.1.0 255.255.255.224
!
```

この例では、アドレス 10.86.194.170 のポート 80 で ActiveX フィルタリングがイネーブルになっています。

関連コマンド

コマンド	説明
filter activex	セキュリティ アプライアンスを通過する HTTP トラフィックから ActiveX オブジェクトを削除します。
filter ftp	URL フィルタリング サーバによってフィルタリングされる FTP トラフィックを指定します。
filter https	Websense サーバによってフィルタリングされる HTTPS トラフィックを指定します。
filter java	セキュリティ アプライアンスを通過する HTTP トラフィックから Java アプレットを削除します。
filter url	トラフィックを URL フィルタリング サーバに送ります。

show running-config fips

セキュリティ アプライアンスで実行されている FIPS コンフィギュレーションを表示するには、**show running-config fips** コマンドを使用します。

show running-config fips

構文の説明

fips FIPS-2 準拠情報

デフォルト

このコマンドには、デフォルト設定がありません。

コマンド モード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンド モード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
グローバル コンフィギュレーション	•	—	•	—	—

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(4)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

show running-config fips コマンドを使用すると、現在実行されている FIPS コンフィギュレーションを表示できます。**running-config** キーワードは、**show running-config fips** コマンド内だけで使用します。このキーワードを **no** または **clear** とともに使用することや、スタンドアロン コマンドとして使用することはサポートされていません。また、**?**、**no ?**、または **clear ?** のいずれかのキーワードを入力した場合、**running-config** キーワードはコマンド リストに表示されません。

例

```
hostname(config)# show running-config fips
```

関連コマンド

コマンド	説明
clear configure fips	NVRAM に保存されているシステムまたはモジュールの FIPS コンフィギュレーション情報をクリアします。
crashinfo console disable	フラッシュに対するクラッシュ書き込みの読み取り、書き込み、およびコンフィギュレーションをディセーブルにします。
fips enable	システムまたはモジュールで FIPS 準拠を強制するためのポリシーチェックをイネーブルまたはディセーブルにします。
fips self-test poweron	電源投入時自己診断テストを実行します。
show crashinfo console	フラッシュに対するクラッシュ書き込みの読み取り、書き込み、および設定を行います。

show running-config fragment

フラグメント データベースの現在のコンフィギュレーションを表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config fragment** コマンドを使用します。

show running-config fragment [*interface*]

構文の説明

interface (任意) セキュリティ アプライアンスのインターフェイスを指定します。

デフォルト

interface が指定されていない場合、このコマンドはすべてのインターフェイスに適用されます。

コマンド モード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンド モード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ コンテキ スト	システム
特権 EXEC	•	•	•	•	—

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

show running-config fragment コマンドは、フラグメント データベースの現在のコンフィギュレーションを表示します。インターフェイス名を指定した場合は、指定したインターフェイスに存在するデータベースの情報だけが表示されます。インターフェイス名を指定しなかった場合、このコマンドはすべてのインターフェイスに適用されます。

show running-config fragment コマンドを使用すると、次の情報が表示されます。

- **Size** : **size** キーワードで設定されるパケットの最大数。この値は、インターフェイスで許容されるフラグメントの最大数です。
- **Chain** : **chain** キーワードで設定される、単一パケットのフラグメントの最大数。
- **Timeout** : **timeout** キーワードで設定される最大秒数。これは、フラグメント化されたパケット全体が到着するのを待機する最大秒数です。タイマーは、パケットの最初のフラグメントが到着したあとに開始します。指定した秒数までに到着しなかったパケット フラグメントがある場合、到着済みのすべてのパケット フラグメントが廃棄されます。

例

次に、すべてのインターフェイスのフラグメント データベースの状態を表示する例を示します。

```
hostname# show running-config fragment
fragment size 200 inside
fragment chain 24 inside
fragment timeout 5 inside
fragment size 200 outside1
fragment chain 24 outside1
fragment timeout 5 outside1
```

show running-config fragment

```
fragment size 200 outside2
fragment chain 24 outside2
fragment timeout 5 outside2
fragment size 200 outside3
fragment chain 24 outside3
fragment timeout 5 outside3
```

次に、名前が「outside」で始まるインターフェイスのフラグメント データベースの状態を表示する例を示します。



(注) この例では、「outside1」、「outside2」および「outside3」という名前のインターフェイスが表示されません。

```
hostname# show running-config fragment outside
fragment size 200 outside1
fragment chain 24 outside1
fragment timeout 5 outside1
fragment size 200 outside2
fragment chain 24 outside2
fragment timeout 5 outside2
fragment size 200 outside3
fragment chain 24 outside3
fragment timeout 5 outside3
```

次に、「outside1」という名前のインターフェイスについてのみ、フラグメント データベースの状態を表示する例を示します。

```
hostname# show running-config fragment outside1
fragment size 200 outside1
fragment chain 24 outside1
fragment timeout 5 outside1
```

関連コマンド

コマンド	説明
clear configure fragment	すべての IP フラグメント再構成コンフィギュレーションを、デフォルトにリセットします。
clear fragment	IP フラグメント再構成モジュールの動作データをクリアします。
fragment	パケット フラグメンテーションを詳細に管理できるようにし、NFS との互換性を高めます。
show fragment	IP フラグメント再構成モジュールの動作データを表示します。

show running-config ftp mode

FTP に設定されているクライアント モードを表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config ftp mode** コマンドを使用します。

show running-config ftp mode

デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

コマンドモード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ コンテキ スト	システム
特権 EXEC	•	•	•	•	—

コマンド履歴

リリース	変更内容
既存	このコマンドは既存です。

使用上のガイドライン

show running-config ftp mode コマンドは、セキュリティ アプライアンスが FTP サーバにアクセスするとき使用するクライアント モードを表示します。

例

次に、**show running-config ftp-mode** コマンドの出力例を示します。

```
hostname# show running-config ftp-mode
!
ftp-mode passive
!
```

関連コマンド

コマンド	説明
copy	イメージ ファイルやコンフィギュレーション ファイルを FTP サーバとの間でアップロードまたはダウンロードします。
debug ftp client	FTP クライアントのアクティビティに関する詳細な情報を表示します。
ftp mode passive	セキュリティ アプライアンスが FTP サーバにアクセスするとき使用する FTP クライアント モードを設定します。

show running-config global

コンフィギュレーション内の **global** コマンドを表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config global** コマンドを使用します。

show running-config global

構文の説明

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

コマンドモード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
特権 EXEC	•	—	•	•	—

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	キーワード running-config を追加しました。

例

次に、**show running-config global** コマンドの出力例を示します。

```
hostname# show running-config global
global (outside1) 10 interface
```

関連コマンド

コマンド	説明
clear configure global	コンフィギュレーションから global コマンドを削除します。
global	グローバル アドレスのプールからエントリを作成します。

show running-config group-delimiter

トンネルのネゴシエーション時に受信したユーザ名からグループ名を解析するときに使用する、現在のデリミタを表示するには、グローバル コンフィギュレーション モードまたはトンネル グループ IPsec 属性 コンフィギュレーション モードで **show running-config group-delimiter** コマンドを使用します。

show running-config group-delimiter

構文の説明

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

コマンド モード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンド モード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ コンテキ スト	システム
グローバル コンフィギュレーション	•	•	—	—	•
トンネル グループ ipsec 属性 コンフィギュレーション	•	—	•	—	—

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	このコマンドが導入されました。
7.1(1)	トンネル グループ ipsec 属性コンフィギュレーション モードが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドを使用して、現在設定されている group-delimiter を表示します。

例

次に、**show running-config group-delimiter** コマンドおよびその出力例を示します。

```
hostname(config)# show running-config group-delimiter
group-delimiter @
```

関連コマンド

コマンド	説明
group-delimiter	グループ名の解析をイネーブルにし、トンネルのネゴシエーション中に受信したユーザ名からグループ名を解析するときに使用するデリミタを指定します。

show running-config group-policy

特定のグループ ポリシーの実行コンフィギュレーションを表示するには、特権 EXEC モードでグループ ポリシーの名前を指定して **show running-config group-policy** コマンドを使用します。すべてのグループ ポリシーの実行コンフィギュレーションを表示するには、特定のグループ ポリシーを指定しないでこのコマンドを使用します。表示にデフォルト コンフィギュレーションを含めるには、**all** キーワードを使用します。

show running-config [all] group-policy [name]

構文の説明

all	(任意) 実行コンフィギュレーションを、デフォルト値を含めて表示します。
name	(任意) グループ ポリシーの名前を指定します。

デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

コマンドモード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
特権 EXEC	•	—	•	—	—
グローバル コンフィギュレーション	•	—	•	—	—

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0	このコマンドが導入されました。

例

次に、FirstGroup という名前のグループ ポリシーの実行コンフィギュレーションを、デフォルト値を含めて表示する例を示します。

```
hostname# show running-config all group-policy FirstGroup
```

関連コマンド

コマンド	説明
group-policy	グループ ポリシーを作成、編集、または削除します。

コマンド	説明
group-policy attributes	グループ ポリシー属性モードを開始します。 このモードでは、指定したグループ ポリシーの AVP を設定できます。
clear config group-policy	特定のグループ ポリシーまたはすべてのグループ ポリシーのコンフィギュレーションを削除します。

show running-config http

現在の設定済み HTTP コマンドのセットを表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config http** コマンドを使用します。

show running-config http

デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

コマンド モード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンド モード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
特権 EXEC	•	—	•	—	—
グローバル コンフィギュレーション	•	—	•	—	—

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	このコマンドが導入されました。

例

次に、**show running-config http** コマンドの出力例を示します。

```
hostname# show running-config http
http server enabled
0.0.0.0 0.0.0.0 inside
```

関連コマンド

コマンド	説明
clear http	HTTP コンフィギュレーションを削除します。HTTP サーバがディセーブルになり、HTTP サーバにアクセスできるホストが削除されます。
http	IP アドレスとサブネット マスクによって、HTTP サーバにアクセスできるホストを指定します。ホストが HTTP サーバへのアクセスで経由するセキュリティ アプライアンスのインターフェイスを指定します。
http authentication-certificate	セキュリティ アプライアンスへの HTTPS 接続を確立するユーザの証明書による認証を要求します。
http redirect	セキュリティ アプライアンスが HTTP 接続を HTTPS にリダイレクトすることを指定します。
http server enable	HTTP サーバをイネーブルにします。

show running-config icmp

ICMP トラフィックに設定されているアクセス ルールを表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config icmp** コマンドを使用します。

```
show running-config icmp map_name
```

デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

コマンドモード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ コンテキ スト	システム
特権 EXEC	•	•	•	•	—

コマンド履歴

リリース	変更内容
既存	このコマンドは既存です。

使用上のガイドライン

show running-config icmp コマンドは、ICMP トラフィックに設定されているアクセス ルールを表示します。

例

次に、**show running-config icmp** コマンドの出力例を示します。

```
hostname# show running-config icmp
!
icmp permit host 172.16.2.15 echo-reply outside
icmp permit 172.22.1.0 255.255.0.0 echo-reply outside
icmp permit any unreachable outside
!
```

関連コマンド

コマンド	説明
clear configure icmp	ICMP コンフィギュレーションをクリアします。
debug icmp	ICMP のデバッグ情報の表示をイネーブルにします。
show icmp	ICMP コンフィギュレーションを表示します。
timeout icmp	ICMP のアイドル タイムアウトを設定します。

show running-config imap4s

IMAP4S の実行コンフィギュレーションを表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config imap4s** コマンドを使用します。

show running-config [all] imap4s

構文の説明

all (任意) 実行コンフィギュレーションを、デフォルト値を含めて表示します。

デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	このコマンドが導入されました。

コマンドモード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
特権 EXEC	•	—	•	—	—
グローバル コンフィギュレーション	•	—	•	—	—
webvpn	•	—	•	—	—

例

次に、**show running-config imap4s** コマンドの出力例を示します。

```
hostname# show running-config imap4s

imap4s
 server 10.160.105.2
 authentication-server-group KerbSvr
 authentication aaa

hostname# show running-config all imap4s

imap4s
 port 993
 server 10.160.105.2
 outstanding 20
 name-separator :
 server-separator @
 authentication-server-group KerbSvr
 no authorization-server-group
 no accounting-server-group
 no default-group-policy
 authentication aaa
```

関連コマンド

コマンド	説明
<code>clear configure imap4s</code>	IMAP4S コンフィギュレーションを削除します。
<code>imap4s</code>	IMAP4S 電子メール プロキシ コンフィギュレーションを作成または編集します。

show running-config interface

実行コンフィギュレーションのインターフェイス コンフィギュレーションを表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config interface** コマンドを使用します。

```
show running-config [all] interface [physical_interface[.subinterface] | mapped_name |
interface_name]
```

構文の説明

all	(任意) デフォルトから変更していないコマンドを含め、すべての interface コマンドを表示します。
<i>interface_name</i>	(任意) nameif コマンド内にインターフェイス名のセットを指定します。
<i>mapped_name</i>	(任意) allocate-interface コマンドを使用してマッピング名を割り当てた場合、マルチ コンテキスト モードでその名前を指定します。
<i>physical_interface</i>	(任意) gigabitenet0/1 などのインターフェイス ID を指定します。有効値については、 interface コマンドを参照してください。
<i>subinterface</i>	(任意) 論理サブインターフェイスを示す 1 ～ 4294967293 の整数を指定します。

デフォルト

インターフェイスを指定しなかった場合は、すべてのインターフェイスのコンフィギュレーションが表示されます。

コマンド モード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンド モード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
特権 EXEC	•	•	•	•	•

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

インターフェイス名は、システム実行スペースでは使用できません。これは、**nameif** コマンドはコンテキスト内だけで使用できるためです。同様に、**allocate-interface** コマンドを使用してインターフェイス ID をマッピング名にマッピングした場合、そのマッピング名はコンテキスト内だけで使用できません。

例

次に、**show running-config interface** コマンドの出力例を示します。この例では、すべてのインターフェイスの実行コンフィギュレーションが表示されています。**GigabitEthernet0/2** インターフェイスおよび **GigabitEthernet0/3** インターフェイスは未設定のため、デフォルトのコンフィギュレーションが表示されています。**Management0/0** インターフェイスにもデフォルトの設定が表示されています。

```
hostname# show running-config interface
!
```

```

interface GigabitEthernet0/0
  no shutdown
  nameif inside
  security-level 100
  ip address 10.86.194.60 255.255.254.0
  webvpn enable
!
interface GigabitEthernet0/1
  no shutdown
  nameif test
  security-level 0
  ip address 10.10.4.200 255.255.0.0
!
interface GigabitEthernet0/1.1
  vlan 101
  no shutdown
  nameif dmz
  security-level 50
  ip address 10.50.1.1 255.255.255.0
  mac-address 000C.F142.4CDE standby 020C.F142.4CDE
!
interface GigabitEthernet0/2
  shutdown
  no nameif
  security-level 0
  no ip address
!
interface GigabitEthernet0/3
  shutdown
  no nameif
  security-level 0
  no ip address
!
interface Management0/0
  shutdown
  no nameif
  security-level 0
  no ip address

```

関連コマンド

コマンド	説明
allocate-interface	インターフェイスおよびサブインターフェイスをセキュリティ コンテキストに割り当てます。
clear configure interface	インターフェイス コンフィギュレーションをクリアします。
interface	インターフェイスを設定し、インターフェイス コンフィギュレーション モードを開始します。
nameif	インターフェイス名を設定します。
show interface	インターフェイスの実行時ステータスと統計情報を表示します。

show running-config ip address

実行コンフィギュレーションの IP アドレス コンフィギュレーションを表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config ip address** コマンドを使用します。

```
show running-config ip address [physical_interface[,subinterface] | mapped_name |
interface_name]
```

構文の説明

<i>interface_name</i>	(任意) nameif コマンド内にインターフェイス名のセットを指定します。
<i>mapped_name</i>	(任意) allocate-interface コマンドを使用してマッピング名を割り当てた場合、マルチ コンテキスト モードでその名前を指定します。
<i>physical_interface</i>	(任意) gigabitenet0/1 などのインターフェイス ID を指定します。有効値については、 interface コマンドを参照してください。
<i>subinterface</i>	(任意) 論理サブインターフェイスを示す 1 ～ 4294967293 の整数を指定します。

デフォルト

インターフェイスを指定しなかった場合は、すべてのインターフェイスの IP アドレス コンフィギュレーションが表示されます。

コマンドモード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
特権 EXEC	•	•	•	•	—

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

マルチ コンテキスト モードで、**allocate-interface** コマンドを使用してインターフェイス ID をマッピングした場合、そのマッピング名またはインターフェイス名はコンテキスト内だけで指定できます。

このコマンドは、管理 IP アドレスだけを表示するコマンドであるため、トランスペアレント ファイアウォール モードにおいてはインターフェイスを指定しないでください。トランスペアレント ファイアウォールでは、インターフェイスに IP アドレスが関連付けられていません。

この表示には、**nameif** コマンドおよび **security-level** コマンドのコンフィギュレーションも表示されます。

例

次に、**show running-config ip address** コマンドの出力例を示します。

```
hostname# show running-config ip address
!
interface GigabitEthernet0/0
 nameif inside
```

```
security-level 100
ip address 10.86.194.60 255.255.254.0
!
interface GigabitEthernet0/1
 nameif test
 security-level 0
 ip address 10.10.4.200 255.255.0.0
!
```

関連コマンド

コマンド	説明
clear configure interface	インターフェイス コンフィギュレーションをクリアします。
interface	インターフェイスを設定し、インターフェイス コンフィギュレーションモードを開始します。
ip address	インターフェイスの IP アドレス、またはトランスペアレント ファイアウォールの管理 IP アドレスを設定します。
nameif	インターフェイス名を設定します。
security-level	インターフェイスのセキュリティ レベルを設定します。

show running-config ip audit attack

実行コンフィギュレーションの **ip audit attack** コンフィギュレーションを表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config ip audit attack** コマンドを使用します。

show running-config ip audit attack

構文の説明

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

コマンドモード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ コンテキ スト	システム
特権 EXEC	•	•	•	•	—

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	このコマンドは、 show ip audit attack から変更されました。

例

次に、**show running-config ip audit attack** コマンドの出力例を示します。

```
hostname# show running-config ip audit attack
ip audit attack action drop
```

関連コマンド

コマンド	説明
ip audit attack	攻撃シグニチャに一致するパケットのデフォルトアクションを設定します。
ip audit info	情報シグニチャに一致するパケットのデフォルトアクションを設定します。
ip audit interface	監査ポリシーをインターフェイスに割り当てます。
ip audit name	パケットが攻撃シグニチャまたは情報シグニチャに一致した場合に実行するアクションを指定する、名前付き監査ポリシーを作成します。
ip audit signature	シグニチャをディセーブルにします。

show running-config ip audit info

実行コンフィギュレーションの **ip audit info** コンフィギュレーションを表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config ip audit info** コマンドを使用します。

show running-config ip audit info

構文の説明

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

コマンド モード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンド モード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
特権 EXEC	•	•	•	•	—

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	このコマンドは、 show ip audit info から変更されました。

例

次に、**show running-config ip audit info** コマンドの出力例を示します。

```
hostname# show running-config ip audit info
ip audit info action drop
```

関連コマンド

コマンド	説明
ip audit attack	攻撃シグニチャに一致するパケットのデフォルト アクションを設定します。
ip audit info	情報シグニチャに一致するパケットのデフォルト アクションを設定します。
ip audit interface	監査ポリシーをインターフェイスに割り当てます。
ip audit name	パケットが攻撃シグニチャまたは情報シグニチャに一致した場合に実行するアクションを指定する、名前付き監査ポリシーを作成します。
ip audit signature	シグニチャをディセーブルにします。

show running-config ip audit interface

実行コンフィギュレーションの **ip audit interface** コンフィギュレーションを表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config ip audit interface** コマンドを使用します。

show running-config ip audit interface [*interface_name*]

構文の説明

interface_name (任意) インターフェイス名を指定します。

デフォルト

インターフェイス名を指定しなかった場合は、すべてのインターフェイスのコンフィギュレーションが表示されます。

コマンドモード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
特権 EXEC	•	•	•	•	—

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	このコマンドは、 show ip audit interface から変更されました。

例

次に、**show running-config ip audit interface** コマンドの出力例を示します。

```
hostname# show running-config ip audit interface
ip audit interface inside insidepolicy
ip audit interface outside outsidepolicy
```

関連コマンド

コマンド	説明
ip audit attack	攻撃シグニチャに一致するパケットのデフォルト アクションを設定します。
ip audit info	情報シグニチャに一致するパケットのデフォルト アクションを設定します。
ip audit interface	監査ポリシーをインターフェイスに割り当てます。
ip audit name	パケットが攻撃シグニチャまたは情報シグニチャに一致した場合に実行するアクションを指定する、名前付き監査ポリシーを作成します。
ip audit signature	シグニチャをディセーブルにします。

show running-config ip audit name

実行コンフィギュレーションの **ip audit name** コンフィギュレーションを表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config ip audit name** コマンドを使用します。

show running-config ip audit name [*name* [**info** | **attack**]]

構文の説明

attack	(任意) 攻撃シグニチャに対する名前付き監査ポリシー コンフィギュレーションを表示します。
info	(任意) 情報シグニチャに対する名前付き監査ポリシー コンフィギュレーションを表示します。
name	(任意) ip audit name コマンドを使用して作成した監査ポリシー名に関するコンフィギュレーションを表示します。

デフォルト

名前を指定しなかった場合は、すべての監査ポリシーのコンフィギュレーションが表示されます。

コマンドモード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ コンテキスト	システム
コマンドモード					
特権 EXEC	•	•	•	•	—

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	このコマンドは、 show ip audit name から変更されました。

例

次に、**show running-config ip audit name** コマンドの出力例を示します。

```
hostname# show running-config ip audit name
ip audit name insidepolicy1 attack action alarm
ip audit name insidepolicy2 info action alarm
ip audit name outsidepolicy1 attack action reset
ip audit name outsidepolicy2 info action alarm
```

関連コマンド

コマンド	説明
ip audit attack	攻撃シグニチャに一致するパケットのデフォルト アクションを設定します。
ip audit info	情報シグニチャに一致するパケットのデフォルト アクションを設定します。
ip audit interface	監査ポリシーをインターフェイスに割り当てます。
ip audit name	パケットが攻撃シグニチャまたは情報シグニチャに一致した場合に実行するアクションを指定する、名前付き監査ポリシーを作成します。
ip audit signature	シグニチャをディセーブルにします。

show running-config ip audit signature

実行コンフィギュレーションの **ip audit signature** コンフィギュレーションを表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config ip audit signature** コマンドを使用します。

show running-config ip audit signature [*signature_number*]

構文の説明

signature_number (任意) シグニチャ番号に対応するコンフィギュレーションを表示します (存在する場合)。サポートされているシグニチャのリストについては、**ip audit signature** コマンドを参照してください。

デフォルト

番号を指定しなかった場合は、すべてのシグニチャのコンフィギュレーションが表示されます。

コマンドモード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
特権 EXEC	•	•	•	•	—

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	このコマンドは、 show ip audit signature から変更されました。

例

次に、**show running-config ip audit signature** コマンドの出力例を示します。

```
hostname# show running-config ip audit signature
ip audit signature 1000 disable
```

関連コマンド

コマンド	説明
ip audit attack	攻撃シグニチャに一致するパケットのデフォルト アクションを設定します。
ip audit info	情報シグニチャに一致するパケットのデフォルト アクションを設定します。
ip audit interface	監査ポリシーをインターフェイスに割り当てます。
ip audit name	パケットが攻撃シグニチャまたは情報シグニチャに一致した場合に実行するアクションを指定する、名前付き監査ポリシーを作成します。
ip audit signature	シグニチャをディセーブルにします。

show running-config ip local pool

IP アドレス プールを表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config ip local pool** コマンドを使用します。

show running-config ip local pool [*poolname*]

構文の説明

poolname (任意) IP アドレス プールの名前を指定します。

デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

コマンドモード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
EXEC	•	—	•	—	—
グローバル コンフィギュレーション	•	—	•	—	—

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	このコマンドが導入されました。

例

次に、**show running-config ip local pool** コマンドの出力例を示します。

```
hostname(config)# show running-config ip local pool firstpool
```

```
Pool          Begin          End            Mask           Free           In use
firstpool     10.20.30.40   10.20.30.50   255.255.255.0  11
0
Available Addresses:
10.20.30.40
10.20.30.41
10.20.30.42
10.20.30.43
10.20.30.44
10.20.30.45
10.20.30.46
10.20.30.47
10.20.30.48
10.20.30.49
10.20.30.50
```

関連コマンド

コマンド	説明
clear configure ip local pool	すべての IP ローカル プールを削除します。
ip local pool	IP アドレス プールを設定します。

show running-config ip verify reverse-path

実行コンフィギュレーションの **ip verify reverse-path** コンフィギュレーションを表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config ip verify reverse-path** コマンドを使用します。

show running-config ip verify reverse-path [interface interface_name]

構文の説明

interface interface_name (任意) 指定したインターフェイスのコンフィギュレーションを表示します。

デフォルト

このコマンドは、すべてのインターフェイスのコンフィギュレーションを表示します。

コマンドモード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ コンテキ スト	システム
コマンドモード					
特権 EXEC	•	—	•	•	—

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	このコマンドは、 show ip verify reverse-path から変更されました。

例

次に、**show ip verify statistics** コマンドの出力例を示します。

```
hostname# show running-config ip verify reverse-path
ip verify reverse-path interface inside
ip verify reverse-path interface outside
ip verify reverse-path interface dmz
```

関連コマンド

コマンド	説明
clear configure ip verify reverse-path	ip verify reverse-path コンフィギュレーションをクリアします。
clear ip verify statistics	ユニキャスト RPF の統計情報をクリアします。
ip verify reverse-path	IP スプーフィングを防ぐユニキャスト リバース パス転送機能をイネーブルにします。
show ip verify statistics	ユニキャスト RPF 統計情報を表示します。

show running-config ipv6

実行コンフィギュレーションの IPv6 コマンドを表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config ipv6** コマンドを使用します。

show running-config [all] ipv6

構文の説明

all (任意) デフォルトから変更していないコマンドを含め、実行コンフィギュレーションのすべての **ipv6** コマンドを表示します。

デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

コマンドモード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
特権 EXEC	•	—	•	•	—

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	このコマンドが導入されました。

例

次に、**show running-config ipv6** コマンドの出力例を示します。

```
hostname# show running-config ipv6
ipv6 unicast-routing
ipv6 route vln101 ::/0 fec0::65:0:0:a0a:6575
ipv6 access-list outside_inbound_ipv6 permit ip any any
ipv6 access-list vln101_inbound_ipv6 permit ip any any
hostname#
```

関連コマンド

コマンド	説明
debug ipv6	IPv6 デバッグ メッセージを表示します。
show ipv6 access-list	IPv6 アクセス リストを表示します。
show ipv6 interface	IPv6 インターフェイスのステータスを表示します。
show ipv6 route	IPv6 ルーティング テーブルの内容を表示します。
show ipv6 traffic	IPv6 トラフィックの統計情報を表示します。

show running-config isakmp

ISAKMP コンフィギュレーション全体を表示するには、グローバル コンフィギュレーション モードまたは特権 EXEC モードで **show running-config isakmp** コマンドを使用します。

show running-config isakmp

構文の説明

このコマンドにデフォルトの動作または値はありません。

デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

コマンドモード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
グローバル コンフィギュレーション	•	—	•	—	—
特権 EXEC	•	—	•	—	—

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	show running-config isakmp コマンドが導入されました。
7.2(1)	このコマンドは廃止されました。 show running-config crypto isakmp コマンドが代わりに使用されます。

例

グローバル コンフィギュレーション モードで発行した次の例では、ISAKMP コンフィギュレーションに関する情報を表示しています。

```
hostname(config)# show running-config isakmp
isakmp enable inside
isakmp policy 1 authentication pre-share
isakmp policy 1 encryption 3des
isakmp policy 1 hash md5
isakmp policy 1 group 2
isakmp policy 1 lifetime 86400
hostname(config)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
clear configure isakmp	すべての ISAKMP コンフィギュレーションをクリアします。
clear configure isakmp policy	すべての ISAKMP ポリシー コンフィギュレーションをクリアします。
clear isakmp sa	IKE ランタイム SA データベースをクリアします。

コマンド	説明
isakmp enable	IPSec ピアがセキュリティ アプライアンスと通信するインターフェイス上の ISAKMP ネゴシエーションをイネーブルにします。
show isakmp sa	追加情報を含め、IKE ランタイム SA データベースを表示します。